

土木工学・建築学委員会
インフラレジリエンス分科会（第26期・第1回）

議事要旨

日 時：令和6年3月22日（金）14:00～15:10

会 場：オンライン会議（ZOOM）

出席者：〔委員〕多々納、岡村、小林、高橋、土屋、那須、藤原、松田（以上敬称略）
〔事務局〕藤田（同）

欠席者：〔委員〕勝見、中村（同）

議題等

（1）分科会役員を選出について

資料 1-1 に基づき、各委員より自己紹介があった後に、分科会の当期の役員として、委員長に多々納委員、副委員長に高橋委員、幹事に土屋委員・松田委員がそれぞれ選出された。

（2）議事要旨の委員長一任について

資料 1-2 に基づき、多々納委員長より本分科会設置の趣旨について説明があり、その後、議事要旨の委員長一任について了承された。

（3）分科会委員間のメールアドレス共有について

分科会委員間のメールアドレス共有について了承された。

（4）その他

a. 特任連携会員の推薦

資料 1-3 に基づき、京都大学の西正光教授を特任連携会員に推薦することが委員長より提案され、了承された。

b. 過去の活動紹介および今後の方向性に関する意見交換

資料 1-4 に基づき、高橋副委員長よりインフラ高度化分科会（第24期・第25期）の活動内容について紹介があった。これをふまえて、今期どのような形で活動を継続していくか、委員長の問題意識が示されるとともに、委員間で意見交換を行った。主な意見は次の通り。

- ・内閣官房で動いている国土強靱化に関して、わが国の制度的な問題点や現在の課題を紹介してもらい、学術会議の立場から期待に応えたい。
- ・インフラ高度化分科会でのキーワードであった“性能とサービスをつなぐ”議論や“越境”の概念の議論をもっと掘り下げる。

c. 今期の成果

第26期の成果目標について、まずはデータをしっかりと収集・整理し、「報告」としてまとめることを委員間で確認した。

d. その他

5月27日(月)に、土木工学・建築学委員会の全体会が開催される。

配布資料

資料 1-0. 分科会（第 26 期・第 1 回）議事次第

資料 1-1. 分科会（第 26 期）委員名簿

資料 1-2. 第 26 期インフラレジリエンス分科会設置提案書

資料 1-3. 特任連携会員推薦書

資料 1-4. インフラ高度化分科会（第 24 期・第 25 期）の活動内容について

※資料 1-4 は、分科会中に高橋副委員長より配布

次回の予定

次回の分科会は、委員の都合が合うようならば 4 月中に開催予定。

以上
文責：土屋